

ノロウイルスにご注意ください

最近、県内ではノロウイルスが原因でおう吐・下痢を起こす方が増えています。ノロウイルスは、口から体内に入り感染します。

日頃から、外出後、食事前、トイレの後、調理前などには、必ず石けんで手を洗う習慣を身につけて感染を予防しましょう。

なお、お子さまがノロウイルスと医療機関で診断された場合には、すぐに学校へご連絡をお願いいたします。連絡があった日から出席停止扱いとなります。

<潜伏期間> 約12～48時間

<症状>

吐き気・おう吐・下痢・腹痛。通常、1～2日これらの症状が続いた後、治ります。症状が消えても数日、長い人で1ヶ月近く、ウイルスがふん便とともに排泄されます。

※ ノロウイルスは、何度も感染します。

<原因>

- ① カキやアサリなどの二枚貝などを、生あるいは十分に加熱しないで食べた。
- ② 調理する人が感染していて、その人を介して、ウイルスで汚染された食品を食べた。
- ③ 患者のふん便やおう吐物から二次感染した。

<感染予防や拡大を防ぐ方法>

- ① 石けんでよく手を洗う。(30秒以上洗う)
- ② 患者のふん便やおう吐物には直接触れない。
- ③ 汚染された場所や衣類などを消毒する。
- ④ カキやアサリなどの二枚貝は、十分に加熱してから食べる。
(食品の中心部で85℃以上で1分以上加熱)

<ふん便・おう吐物の処理>

- ① ふん便やおう吐物の後始末をする際には、必ず使い捨ての手袋・マスク・エプロンを着用する。
- ② 使い捨ての布やペーパータオルで拭き取る。
- ③ 次亜塩素酸ナトリウムを十分しみ込ませた布やペーパータオルなどで拭いて消毒する。
- ④ 使った布やペーパータオル・手袋・マスクなどは、すぐにビニール袋に入れて処分する。

※ 汚物の処理時や終了後は、窓を大きく開けて換気をしてください。

※ 次亜塩素酸ナトリウム消毒液(ふん便やおう吐物の処理などに使う)

ペットボトルキャップ8杯強の原液(6%の場合)を水で2リットルに希釈したもの。

詳しくは最寄りの保健所へおたずねください。また、感染症や食の安全に関する情報は、下記HPでご覧いただけます。

【感染症に関する情報】 <http://www.pref.ibaraki.jp/bukyoku/hoken/yobo/yobo.htm>

【食の安全に関する情報】 <http://www.shoku.pref.ibaraki.jp>